

○ **八王子市北野処理区の東京都流域下水道への編入が完了しました。**

○ 背景

東京都多摩地域の一部では、市街化が早期に進んだ地域を中心に、都の流域下水道が事業化される以前から市が単独で公共下水道を整備していました。これらの中には、事業開始から長期間が経過したことから、施設の老朽化等の問題を抱えているものがあり、下水道事業の広域化・共同化の一環として、都と市が連携して単独処理区を都の流域下水道へ編入する事業を進めています。

本市においても、JR 八王子駅周辺等の市街地を中心とした北野処理区を管理しており、その終末処理場である北野下水処理場は、供用開始から約 50 年が経過し、施設の更新、高度処理、耐震性の向上への対応が課題となっていました。



八王子市北野下水処理場 (昭和 44 年稼働)



八王子市北野下水処理場の老朽化した施設

○ 編入事業の概要

本市単独処理区である北野処理区は、下水道の整備時期により、分流式と合流式に分かれています。平成 27 年 7 月に受入先となる都の八王子水再生センターの
 現有処理能力で受入可能な分流区域について先行して編入しました。

残る合流区域については、北野下水処理場の編入準備工事、及び八王子水再生センターの水処理施設等の増設を終えたことから、令和３年１月２２日に編入を完了しました。

なお、編入完了に伴い、北野下水処理場は廃止し、編入後の合流区域雨水に対応するため、北野ポンプ場として再整備します。



編入事業の概略図



増設した八王子水再生センター水処理施設(5-1系)

施設の諸元

	北野下水処理場 (八王子市)	八王子水再生センター (東京都下水道局)
運転開始	昭和 44 年 (合流) 昭和 55 年 (分流)	平成 4 年 (分流)
処理能力 (m³ / 日)	合流 31,300 分流 41,300	177,200 (5 - 1 系含む)
普及率 (%)	100	99
計画処理面積 (ha)	合流 354 分流 615	分流 8,533
水処理方式	標準活性汚泥法	標準活性汚泥法、嫌気無酸素好気法ほか
高度処理の導入率 (%)	0	62
汚泥処理方式	濃縮 - 脱水 - 焼却	濃縮 - 脱水 - 焼却

○ 編入の効果

- ① 高度処理施設のある八王子水再生センターで処理することで、良好な水環境が創出できます。
- ② 流域下水道のスケールメリットを活かして、施設の更新費や維持管理費の縮減が図れます。
- ③ 八王子水再生センターと多摩川上流水再生センターを結ぶ連絡管によるバックアップ機能を活用することで、震災時等における処理機能が確保できます。

○ 編入の経緯

- 平成 21 年度 「流域別下水道総合計画」に単独処理区の流域下水道への編入を位置づけ
- 平成 24 年度 編入に関する基本協定の締結
- 平成 25 年度 編入に関する実施協定の締結
- 平成 27 年度 分流区域編入に関する維持管理協定の締結
- 平成 27 年度 分流地区を編入 (平成 27 年 7 月 6 日)
- 令和 02 年度 合流区域編入に関する維持管理協定の締結
- 令和 02 年度 合流地区を編入 (令和 3 年 1 月 22 日)